

医学教育分野別評価

2020 年度 年次報告書

医学教育分野別評価の受審：2018 年度（平成 30 年度）

受審時の医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2. 2

本年次報告書における医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2. 32



令和 2 年 12 月

宮崎大学医学部医学科

はじめに

本学医学部医学科は、2018年に日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価を受審し、2019年6月1日より7年間の認定期間が開始した。医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.32を踏まえ、2020年度の年次報告書を提出する。

なお、本年次報告書に記載した教育活動は、日本医学教育評価機構の作成要項に則り、2019年6月1日～2020年5月31日を対象としている。また、重要な改訂のあった項目を除き、医学教育分野別評価基準日本版 Ver. 2.32の転記は省略した。

1. 使命と教育成果

今後改善が見込まれる項目

1. 使命と教育成果	1.2 大学の自律性および学部の自由度
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
カリキュラムについて検討する際に、教授以外の教員、幅広い学生からの自由な意見を反映することが期待される。	
現在の状況	
カリキュラム委員会において、構成員の学生会長から学生会が実施したアンケートに基づくカリキュラム検討の要望が提出され、教務委員会でカリキュラムの見直しを審議、教授会の承認を受け、要望が反映されたカリキュラムの一部変更がなされた。	
今後の計画	
今後もカリキュラム委員会及びプログラム評価委員会で幅広い関係者の意見を集めながら、カリキュラムの改善に反映させる。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料1】カリキュラム委員会 資料（学生委員） 【資料2】医学科1年生～4年「時間割・見直し・再編成」の要点	

改善した項目

1. 使命と教育成果	1.3 学修成果
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
学修成果を周知するような取り組みを実施すべきである。	
改善状況	
「医学研究者育成コース」及び医学科3年生の「研究室配属」で得られた学修成果を周知する新たな取り組みとして、「研究成果発表会」を実施した。	
今後の計画	
今後も学修成果を周知する取り組みを展開していく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料3】 2020年度（令和2年度）研究発表会プログラム	

改善した項目

1. 使命と教育成果	1.3 学修成果
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
学生がとるべき適切な行動について、学則や行動規範に記載すべきである。	
改善状況	
臨床実習（クリニカルクラークシップ）において、実習生がとるべき適切な行動を要項に記載し、実習開始前のオリエンテーションを通じて指導徹底をはかっている。	
今後の計画	
学生がとるべき適切な行動について、臨床実習以外の場面においても、文書に記載し、年度当初の学年別オリエンテーションを通じて指導を徹底していく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料4-1】 クリニカル・クラークシップⅠ要項 【資料4-2】 クリニカル・クラークシップⅡ要項	

2. 教育プログラム

改善した項目

2. 教育プログラム	2.1 プログラムの構成
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
同時期に行われる科目同士の教育内容の順次性を見直すべきである。	
改善状況	
臨床医学科目（3年後期～4年前期）の順次性を見直し、再編成を実施した。	
今後の計画	
引き続き、アンケート調査や学修成果の動向をもとに、同時期に行われる科目同士の教育内容の順次性を見直していく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料2】医学科1年生～4年「時間割・見直し・再編成」の要点	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.1 プログラムの構成
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
シラバスを充実させ、学生にとって使いやすいものにすべきである。	
現在の状況	
全ての医学科専門科目を対象に、シラバスの「全項目記載」を進めている。	
今後の計画	
2020年（令和2年）12月迄に、全ての医学科専門科目でシラバスの「全項目記載」を完了予定。	
改善状況を示す根拠資料	
無し	

今後改善が見込まれる項目

2. 教育プログラム	2.1 プログラムの構成
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
学生が自分の学修過程に責任を持てるように能動的学修を推進すべきである。	
現在の状況	
能動的学修の実施状況を把握するため、全科目を対象に調査を実施した。	
今後の計画	
調査結果をもとに、能動的学修に適した科目を中心に導入を推進していく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料5】2018年（平成30年）アクティブラーニング実態調査及び英語を取り入れた授業調査の結果	

改善した項目

2. 教育プログラム	2.5 臨床医学と技能
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
学生が実質的にチームの一員として参加する診療参加型臨床実習を大学附属病院で実践すべきである。	
改善状況	
クリニカル・クラークシップⅠ・Ⅱとも、大学附属病院において、診療参加型臨床実習を実践するよう改善し、実習内容の充実に向け臨床実習専門委員会を組織した。	
今後の計画	
臨床実習専門委員会を中心に、診療参加型臨床実習の充実に取り組む。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料4-1】クリニカル・クラークシップⅠ要項	
【資料4-2】クリニカル・クラークシップⅡ要項	
【資料6】臨床実習専門委員会細則	

改善した項目

2. 教育プログラム	2.5 臨床医学と技能
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
「早期大学病院実習」、「早期地域医療実習」、あるいは「公衆衛生学実習」など、患者・住民と接するすべての実習前にワクチン接種を徹底すべきである。	
改善状況	
1) 新入学生を対象に「ウイルス感染性疾患の免疫に関する申告書」の提出を求め、未接種者へのワクチン接種を含め、必要な対応をとった。 2) インフルエンザ流行時期を前に、クリニカル・クラークシップ I・IIに参加する臨床実習生を対象に、インフルエンザワクチン接種を実施した。	
今後の計画	
新型コロナウイルスを含め、ワクチン接種の徹底をはかる。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料7】 学生ワクチン接種	

改善した項目

2. 教育プログラム	2.6 プログラムの構造、構成と教育期間
基本的水準 判定：部分的適合	
改善のための助言	
学生がより学びやすいように、科目の順序や科目間のバランスを見直したカリキュラムを構築し、明示すべきである。	
改善状況	
1) 学生の要望も踏まえ、統計学、環境中毒学、医科生理学の開講時期を変更した。 2) 臨床医学科目（3年後期～4年前期）の順次性を見直し、再編成を実施した。	
今後の計画	
引き続き、バランスのとれたカリキュラムの構築に取り組む。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料2】 医学科1年生～4年「時間割・見直し・再編成」の要点	

3. 学生の評価

改善した項目

3. 学生の評価	3.1 評価と学習との関連
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
形成的評価を確実に組織的に導入し、学生の学修を促進すべきである。	
改善状況	
クリニカル・クラークシップⅡの形成的評価としてルーブリック評価を導入した。	
今後の計画	
形成的評価が適した科目に組織的な導入を進めていく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料8】宮崎大学医学部臨床実習（クリニカル・クラークシップⅡ）実習評価表	

改善した項目

3. 学生の評価	3.1 評価と学習との関連
質的向上のための水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
評価結果を適切に開示し、具体的、建設的、公正で時機を得たフィードバックをすべての学生に行い、学生の学修を促進することが望まれる。	
改善状況	
クリニカル・クラークシップⅠが修了した5年生を対象とした「クリニカル・クラークシップⅠ到達度試験」では、試験問題と正答を開示し、正答に対する疑義も含めた質問を受け付ける形式で実施した。	
今後の計画	
評価結果を適切に開示し、具体的、建設的、公正で時機を得たフィードバックをすべての学生に行う取り組みを進める。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料9】クリニカルクラークシップⅠ到達度試験 実施要綱	

改善した項目

3. 学生の評価	3.1 評価と学習との関連
質的向上のための水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
<p>統合的学修をより推進するために、試験の回数と方法を適切に定めることが望まれる。</p>	
改善状況	
<p>1) 3年後期～4年前期の臨床医学科目をⅠ～Ⅲ期に分け、各期が終了した時点で試験を実施する試験日程に変更した結果、学生の負担が大きく軽減された。</p> <p>2) クリニカル・クラークシップⅠが修了した5年生を対象とした「クリニカル・クラークシップⅠ到達度試験」の試験科目・領域を体系的に整備した。</p> <p>3) クリニカル・クラークシップⅡが修了した6年生を対象としたPost-CC OSCEを本格導入して卒業要件に加え、従来の卒業筆記試験を廃止した。</p>	
今後の計画	
<p>今後もアンケート調査や学修成果の動向をもとに、試験の回数と方法を適切に定めていく。</p>	
改善状況を示す根拠資料	
<p>【資料9】 クリニカルクラークシップⅠ到達度試験 実施要綱</p> <p>【資料10】 カリキュラム変更の要点</p> <p>【資料11】 卒業判定試験制度の見直し</p>	

4. 学生

改善した項目

4. 学生	4.1 入学方針と入学選抜
基本的水準	判定：適合
改善のための助言	
なし	
改善状況	
地域枠で入学した学生等を対象とした「キャリア形成プログラム」の導入を契機に学校推薦型選抜の枠組みを見直し、全国地域枠（仮称）を新設した。	
今後の計画	
今後も学生の選抜方法を見直し、改善に努めていく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料12】2022年度（令和4年度）宮崎大学入学者選抜について（予告）	

改善した項目

4. 学生	4.3 学生のカウンセリングと支援
基本的水準	判定：適合
改善のための助言	
低学年での留年率を改善するために、学修上の問題を抱える学生に対する支援体制を強化すべきである。	
改善状況	
学修上の問題などについて、Webシステムを利用して相談・面談を申し込む「学生相談・面談希望フォーム」を開設し、運用を開始した。	
今後の計画	
今後も学修上の問題を抱える学生に対する支援体制を多角的に強化していく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料13】学生相談受付フォーム	

改善した項目

4. 学生	4.3 学生のカウンセリングと支援
質的向上のための水準 判定：適合	
改善のための示唆	
地域卒学生のキャリアガイダンスをさらに充実することが期待される。	
改善状況	
<ol style="list-style-type: none"> 1) 宮崎県の支援を受け、宮崎県地域医療支援機構大学分室に教員二名と事務員一名を追加し人員体制を強化。 2) キャリアデザインサポート委員会を改組し、地域医療支援機構大学分室及び地域医療・総合診療学講座の教員を構成員に追加。 3) 地域卒・地域特別卒の学生を対象に「学年リーダー制度」を整備。 4) 地域卒・地域特別卒全体ミーティングを開催し、キャリア形成プログラムに関する講演会と交流会を実施。 	
今後の計画	
キャリア形成プログラムの充実をはかりながら、地域卒学生のキャリアガイダンスに注力していく。	
改善状況を示す根拠資料	
<p>【資料14】 キャリア形成支援体制</p> <p>【資料15】 キャリアデザインサポート委員会規程</p> <p>【資料16】 地域卒・地域特別卒全体ミーティング：次第</p>	

改善した項目

4. 学生	4.4 学生の参加
<p>基本的水準 判定：部分的適合</p>	
<p>改善のための助言</p>	
<p>1. 教育プログラムの管理に係る委員会に学生が参画すべきである。 2. 学生に関する諸事項に関する委員会に学生が参画すべきである。</p>	
<p>改善状況</p>	
<p>教務委員会と学生会の連携を円滑にし、以下の事項を学生の代表者と共に審議する「教務学生連絡協議会」を発足させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 教育課程及び授業計画に関すること。 (2) 学生のサークル・課外活動に関すること。 (3) 学生に関する行事の企画運営に関すること。 (4) 学生の福利厚生に関すること。 (5) その他協議会が必要と認めた事項 	
<p>今後の計画</p>	
<p>教務学生連絡協議会を基点に教員と学生の連携を強化しながら、教育プログラムの管理をはじめとする諸事項を共に協議する機会の充実に努めていく。</p>	
<p>改善状況を示す根拠資料</p>	
<p>【資料17】教務学生連絡協議会規程</p>	

5. 教員

改善した項目

5. 教員	5.2 教員の活動と能力開発
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
教員の教育活動を確実に評価すべきである。	
改善状況	
従来の配布形式に代えて、Webシステムを活用した授業評価アンケートを導入し、教員の教育活動が確実に評価されるシステム運用を開始した。Webシステムの導入によって、とくにオムニバス形式の講義で教員単位の授業評価が推進された。	
今後の計画	
授業評価アンケートの充実に加えて、教員の教育活動を確実に評価するシステムの構築に努めていく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料18】 授業評価アンケートについて	

改善した項目

5. 教員	5.2 教員の活動と能力開発
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
個々の教員がカリキュラム全体を確実に理解できるような方策を講ずるべきである。	
改善状況	
カリキュラム全体の俯瞰表を作成し、教授会及び臨床実習専門会で説明したことに加え、全講義室に掲示して学生とも理解の共有をはかった。	
今後の計画	
授業評価アンケートの充実に加えて、教員の教育活動を確実に評価するシステムの構築に努めていく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料19】 カリキュラム俯瞰表	

6. 教育資源

改善した項目

6. 教育資源	6.1 施設・設備
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
患者および学生の安全のために、患者と接するすべての実習前にワクチン接種を徹底すべきである。	
改善状況	
1) 新入学生を対象に「ウイルス感染性疾患の免疫に関する申告書」の提出を求め、未接種者へのワクチン接種を含め、必要な対応をとった。 2) インフルエンザ流行時期を前に、クリニカル・クラークシップⅠ・Ⅱに参加する臨床実習生を対象に、インフルエンザワクチン接種を実施した。	
今後の計画	
新型コロナウイルスを含め、ワクチン接種の徹底をはかる。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料7】 学生ワクチン接種	

改善した項目

6. 教育資源	6.3 情報通信技術
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための示唆	
講義資料の事前配信など、自己学修を促進するための情報通信技術の活用が望まれる。	
改善状況	
新型コロナウイルス感染対策の遠隔（録画）講義において、Google Classroomを活用した録画講義と資料の配信を実施した。	
今後の計画	
新型コロナウイルス感染を機に、教育分野においても発展が進んでいる情報通信技術を積極的に活用していく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料20】 録画講義実施要領	

改善した項目

6. 教育資源	6.6 教育の交流
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
国内の他の教育機関との交流を積極的に進めるべきである。	
改善状況	
東京慈恵会医科大学と包括的連携協定を締結し、臨床実習生の交換を開始した。	
今後の計画	
東京慈恵会医科大学以外にも、他の教育機関との交流を積極的に進める。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料21】 包括的連携に基づく臨床実習生交換資料一式	

7. プログラム評価

改善した項目

7. プログラム評価	7.2 教員と学生からのフィードバック
基本的水準	判定：部分的適合
改善のための助言	
教員と学生からフィードバックを系統的に求めて分析し対応すべきである。	
改善状況	
従来の配布形式に代えて、Webシステムを活用した授業評価アンケートを導入し、教員の教育活動が確実に評価されるシステム運用を開始した。Webシステムの導入によって、とくにオムニバス形式の講義で教員単位の授業評価が推進された。	
今後の計画	
授業評価アンケートの充実に加えて、学生からのフィードバックを系統的に求めて分析するシステムの構築に努めていく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料18】 授業評価アンケートについて	

8. 統轄および管理運営

改善した項目

8. 統轄および管理運営	8.1 統轄
基本的水準 判定：適合	
改善のための助言	
教育に関係する各委員会の位置づけと権限を明確にすべきである。	
改善状況	
1. 教務委員会に臨床実習専門委員会、共用試験実施専門委員会、医学研究者育成専門委員会を設置し、各専門委員会の位置づけと役割、権限を明確にした。 2. 各専門委員会の委員長を教務副委員長に任命し、教務四役として必要に応じて、協議する体制を整備した。	
今後の計画	
授業評価アンケートの充実に加えて、学生からのフィードバックを系統的に求めて分析するシステムの構築に努めていく。	
改善状況を示す根拠資料	
【資料22】 専門委員会規程一式 【資料23】 教務四役体制図	

以上